

新庁舎落成式

11月13日、佐野市新庁舎落成式が執り行われました。

式には、福田栃木県知事、茂木議員など国会議員をはじめ、県議会議員並びに県内、両毛6市の各市・町長、議長、そして関係機関、各界の代表の皆様などおよそ300名にお越しいただきました。

落成式の後は、佐野ふるさと特使である歌舞伎役者・中村鷹之資たかのすけさんによる「寿式三番叟ことぶきしきさんばそう」が披露され、その見事な舞いに盛大な拍手が送られました。

また、新庁舎1階に設置された高橋久雄さんによるフレスコ画「太陽と岩山」の除幕式が行われ、見事な絵が披露されました。

新庁舎の全面開庁は12月7日です。ご利用の際はご注意ください。

【移転スケジュール】

- 11月24日移転…主に南仮庁舎の各課
- 11月31日移転…主に田沼庁舎の各課
- 12月7日移転…東庁舎の各課



静岡県三島市と「災害時における相互支援協定」、泉佐野市と「特産品の相互PRに関する協定」を締結

10月30日、静岡県三島市と「災害時における相互支援協定」を締結しました。

この協定は、佐野市・三島市いずれかの市で災害が発生した場合、被災市から要請を受けた市が飲食料や生活必需品の供給、職員の派遣、被災者の受け入れなどを行うと定めたものです。



また、11月12日には大阪府泉佐野市と「特産品の相互PRに関する協定」を締結しました。

この協定は、両市で特産品を相互にPRしていくもので、泉佐野市のふるさと納税のお礼品に、本市のフルーツが加わります。

市では他の自治体との相互支援とともに、都市間の交流を推進し、交流拠点都市の実現に努めていきます。

市民駅伝を開催。優勝は赤見支部



11月8日、作原野外活動施設から田沼庁舎までの9区間20.12キロを、市内13の体育協会支部の代表選手たちが走りました。

当日は雨が降るあいにくの天気ながら、小学生から50歳以上の方など、各地区を代表する各年代の選手がタスキをつなぎました。

最初に田沼庁舎に飛び込んできたのは、赤見支部。4選手が区間賞を取る見事な走りを見せてくれました。

【大会結果】

第1位：赤見支部、第2位：犬伏支部、第3位：城北支部 ※詳しい結果は市ホームページへ



イノシシ被害への対策

10月24日、田沼中央公民館で、佐野市市民大学企画運営スタッフが企画した講座「イノシシ被害と対策の今！」が、宇都宮大学の雑草と里山の科学センター小寺祐二さんを講師として行われました。

イノシシによる農作物の被害は、山間部に人が少なくなっていることや、耕作放棄地が増えていることなどが原因です。

被害の多い地域の農家では、電気柵でイノシシの進入を防ぐ努力をしていますが、柵の外側のやぶや草を刈り取らなかつたり、柵内に耕作放棄地があるとイノシシに侵入されてしまうそうです。

お話を聴きながら、行政と市民が連携して、草刈りをサポートすることが必要だと思いました。自分には関わりがないと思っている方も、美味しい農作物が食べられるよう、協力していきましょう。(市民記者 佐藤久夫)

平和の大切さを訴える特別授業



よいならよしぞう 四十八願好造さん(石塚町)が戦時中の体験談を披露し、児童たちに平和の大切さを訴えました。

これまでも石塚小で同様の授業を行ってききましたが、今回は旗川小でも実施。四十八願さんは第2次世界大戦の際、県内の出身者だけで3万人以上が戦地で命を落とし、空襲で700人以上亡くなったことを話し、戦争の恐ろしさと平和のありがたさを話しました。

四十八願さんは16歳で水戸市の陸軍航空通信学校に入隊し厳しい訓練の中、夜中にトイレに籠り、臭いにおいの中、必死に勉強した逸話を披露。児童たちに落ち着いて学べる素晴らしさを訴えました。



火の用心の呼びかけ

11月9日から15日の秋季全国火災予防運動にあわせ、市内の各所で幼年消防クラブ員や女性防火クラブ、また各消防団による火災予防の広報活動が行われました。



これから冬を迎え、空気が乾燥し火災が起こりやすい時期です。火の元には十分注意し、火災を起こさないようにしましょう。



どまんなかフェスタさの2015

11月1日、どまんなかフェスタさの2015が田沼グリーンスポーツセンターで開催されました。

素晴らしい秋晴れの中、市・内外から4万2千人の方々が来場し、いもフライや地場産野菜などを買い求めたほか、環境・健康・税金など各出展者のブースを興味深そうに訪れていました。

ステージでは市内各グループがダンスなどを披露されました。また、恒例となった「へそおどり」(野上四季の会など)が披露され、会場の皆さんから拍手が送られていました。

